

第31回リハ工学カンファレンス in こうち SIGセミナー

	日時(会場)	SIG	テーマ	講師	概要
第1日目 8月26日(金)	13:30~15:00 (第2会場)	コミュニケーション	『基本的なコミュニケーションツールとその入力に利用するデバイスについて』	伊藤 和之 田中 栄一	・小児神経筋疾患患者が機器利用する上で知っておきたい身体と機器の適合について ・肢体不自由者向けのタブレット・パソコン操作用入出力インタフェースについて
	13:30~15:00 (第3会場)	車いす	車いすのチカラ!	小林 博光	車いすにはいろいろな力加わっています。ハンドリムに手を添えて力をタイヤに加えるだけでなく、移動に伴う他の力もあります。軽い車いすなら軽く漕げるわけではありません。力を十分に効率よく活用するために、実際の車いすと触れ合いながら体感していただきます。
	15:10~18:20 (第5会場)	移乗機器	①移乗の問題と座位、移乗技術の原則 ②座位移乗技術の実際と要領	古田 恒輔 松本 多正	移乗は障害者・高齢者の生活範囲を広げる基本動作です。本人の能力を活かし、介助者の身体を守る方法とはどのような方法でしょうか。移乗に関連した福祉機器類を中心にしながら移乗動作のあり方や移乗用具の選定手法などを考えていきます。
	16:50~18:20 (第4会場)	義肢装具	「義肢・装具体験!~模擬義足・模擬装具体験から歩行の基礎を科学する~」	早川 康之 水澤 二郎 笹川 友彦	義肢・装具は身体に直接触れる一番身近な福祉用具です。初めての人でも理解できる基本的なことから最先端まで、さまざまな情報を共有し、理解を深めていきます。当日は義肢装具を使用しての体験歩行もします。
第2日目 8月27日(土)	9:00~10:30 (第2会場)	住まいづくり	「子どもと高齢者のための住宅内安全計画」	八藤後 猛	SIG住まいづくりは、多様な分野からの参加者を得て「住まいづくり」に必要な、技術的課題の探求を求め、チームアプローチによる課題解決の方法論、情報の交換から学際的な研究までを行うことを目的としています。
	9:00~10:30 (第4会場)	褥そう防止装置	褥そう防止装置の基礎	新妻 淳子 河合 俊宏	SIG褥そう防止装置は、褥そう予防のために基礎研究から臨床応用まで広い範囲にわたって専門が異なるさまざまな職種が協働しているグループです。
	10:40~12:10 (第1会場)	特別支援教育	特別支援教育の現状と抱える問題	松田 靖史	特別支援教育は取り巻く環境の変化によって大きく様変わりしつつあります。学内では生徒の構成が以前の肢体不自由児主体から発達障害児の割合が増えています。また社会では高校が全入時代となり、大学も総在席数では全入時代となりました。障がい者差別解消法の制定施行と障がい者雇用促進法の改定によって、以前にまして障害児童の学校と社会が近くなります。子供たちの教育をみんなで前向きに話し合しましょう!
	13:30~15:40 (第1会場)	姿勢保持	姿勢保持の基礎と身近な素材で作る姿勢保持具	繁成 剛 児玉 真一	当セミナーでは、前半に参加型ワークショップとして「車椅子の張り調整体験」のあと「ウレタン製パッド作り見学」「症例紹介(高齢者・CP)」「身近な素材で作る姿勢保持具」について解説します。後半は「姿勢保持の基本的な考え方」「姿勢保持装置の概要とその適用例」についての講義を行います。
13:30~15:40 (第4会場)	自助具	自助具について~自助具作成体験~	岡田 英志	自助具とは、体の不自由な人が日常の生活動作をより便利に、より容易にできるように工夫した道具です。当日は実際に自助具を作成する体験も行います。	
第3日目 8月28日(日)	9:00~10:30 (第2会場)	乗り物	電動車椅子の乗った当事者と付添者が、どうやって高知まで来たか?—現状と課題—	麩澤 孝	電動車椅子での日本全国電車巡りと自己紹介、高知までの道中の様子紹介や気付き、地方における観光バリアフリーの在り方や課題について、30分の3部作でストーリー組み立て。

【会場場所】第1会場(ホール) 第2会場(高齢者) 第3会場(5A) 第4回会場(5D) 第5会場(介護実習)

※SIGセミナーは参加費無料です。リハ工学カンファレンス内で開催されるものでありカンファレンスへの参加が前提となります。

※カンファレンス1日で参加申込の方は、申込日のみSIGセミナー参加可能です。